

青森りんご「日本一！」



青森りんご「日本一！」データ

「収穫量」日本一！

445,500t

(平成30年)

全国シェア 58.9%

「栽培面積」日本一！

20,600ha

(平成30年)

全国シェア 54.6%

「産出額」日本一！

749億円

(平成29年)

「東京都中央卸売市場
年間取扱金額」日本一！

150億3千万円

(平成30年)

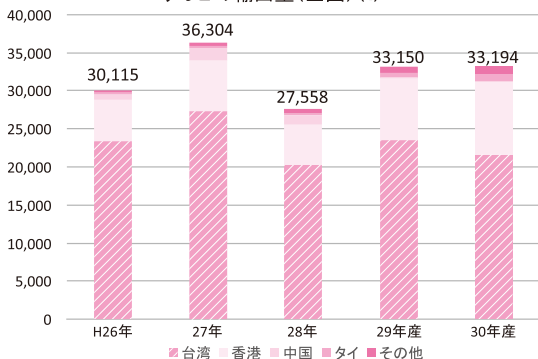
市場シェア 78.2%

◆青森りんご、世界へ

青森りんごの輸出は、明治時代に始まり、現在は、台湾を中心に、主にアジア地域に輸出され、食味や品質、大きさで高い評価を得ています。

台湾では、特に贈答用の高級品として人気！

りんごの輸出量(全国)(t)



※このうち約9割が青森県産であると推計

イ子押し
ミニあらかると

青森りんごの始まり

明治8年(1875年)春、当時の内務省勧業寮から提供された3本の苗木が県庁構内に植えられたのがはじまり。現在、県庁前庭では昭和38年以降に植えられた11種類のりんごの木が実をつけます。

資料：果樹生産出荷統計、生産農業所得統計(農林水産省)、貿易統計(財務省) 県りんご果樹課HP「青森県庁内のりんご」

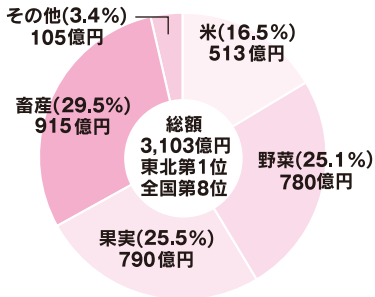
決め手は、青森県産！



日本の食料自給率(カロリーベース)が38%と低く、青森県は**117%**(H29年度概算値)で**全国第4位!**また、米、野菜、果実、畜産、魚介類の生産量のバランスが良く、農業産出額・漁業産出額もすごい!

特に農業産出額は、平成16年以降、**14年連続で東北第1位**をキープしています。やっぱり「決め手は、青森県産!」ですね。

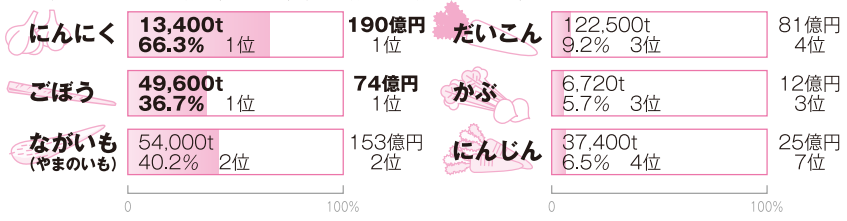
青森県の農業産出額(平成29年)



◆野菜・果実

りんご、にんにく、ごぼうは**収穫量全国第1位!**他にも、ながいも、だいこん、かぶ、にんじんの生産が盛んです。(「りんご」は前ページをご覧ください。)

収穫量全国シェア・順位(H30年)、産出額・全国順位(H29年)



◆畜産

ブロイラー(肉用若鶏)飼養羽数は全国第4位!産出額をみると、豚が236億円、ブロイラーが211億円、採卵鶏208億円となっており、りんご(749億円)、米(513億円)に次いで高い!

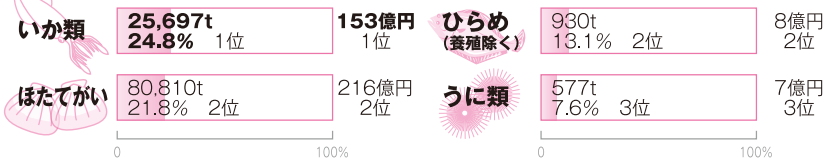
飼養頭羽数全国シェア・順位(H31.2.1)、産出額・全国順位(H29年)



◆魚介類

三方を海で囲まれている青森県は、海面漁業・養殖業は総生産量182,027t、総産出額は641億円とともに全国第6位！

生産量全国シェア・順位(H29年)、産出額・全国順位(H29年)



資料：農林水産統計年報、畜産統計、生産農業所得統計、野菜生産出荷統計、食鳥流通統計、海面漁業・養殖業生産統計

イ子押し
ミニあらかると

青森のお米「青天の霹靂」全国へ！

県産米をけん引する青森県期待の新しいお米、「青天の霹靂」は、一般財団法人日本穀物検定協会による平成30年産米の食味ランキングにおいて、最高の評価である「特A」を参考品種を含めて5年連続で取得しました。



資料：県総合販売戦略課

イ子押し
ミニあらかると

日本最大級の大きさ！ 「ジュノハート」令和元年デビュー！

青森県が開発したさくらんぼの新しい品種「ジュノハート」が令和元年初夏にデビューし、初競りで最高値が一粒一万円を記録するなど、順調なスタートを切りました！

ジュノハートは日本のさくらんぼの中でも最大級で、果実がハート形をしているのが特徴です。

また、ジュノハートの中でも4L(横径3.1センチ以上)サイズかつ検査で認められたものだけを「青森ハートビート」という名称でブランド化し、世界で愛されるさくらんぼをめざしています。

資料：県総合販売戦略課 青森ハートビート(原寸大)

「A!Premium」!!



～青森のプレミアム産品を西日本へ翌日午前配達! アジア圏へ最短翌日中配達!～

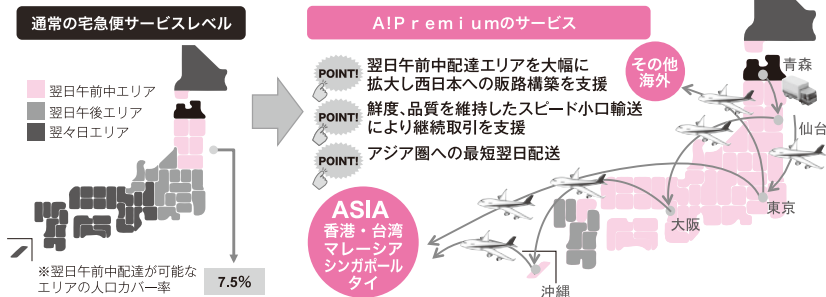
A!Premiumは、平成27年4月から始まった、青森県とヤマト運輸株式会社による新しい流通サービスです。トラック輸送と航空輸送を組み合わせることで、これまでは東北地域に限られていた、翌日午前中配達エリアを、沖縄を含む西日本へ大幅に拡大しました。また、従来の仙台空港や沖縄国際物流ハブを活用して、西日本やアジア向けに輸送するルートに加え、青森空港から羽田・成田の両空港を経由した海外への新ルートも確立しました。

青森の地理的なハンディキャップを克服し、農林水産品の販路を拡大していく、それがA!Premiumなのです!



流通サービスの特徴

利用しやすい料金で、“スピード輸送+保冷一貫輸送”サービスを実現!
高付加価値商材を高鮮度で全国へ、アジア圏へ輸送!



翌日午前中配達可能なエリアの人口カバー率 7.5%⇒89.8%



荷物積み込みの様子
青森から西日本、アジア圏へ!



神戸市内には「A!Premium」商材を
メインに提供する飲食店もオープン!

		A!Premium の取扱荷物(個)	
年度	平成29年度	平成30年度	
合計	6,290	4,772	
国内	2,876	1,892	
海外	3,414	2,880	

資料: 県港湾空港課

新しい味探し！

青森のご当地グルメ&ラーメン



青森県は豊かな自然に恵まれ、新鮮でおいしい農林水産物が生産されていますが、素材が良いだけでなく、地域によって大きく異なる気候や文化、生活環境によって、各地でユニークな食文化が発達してきました。

そんな中で、地場産食材に徹底的にこだわったご当地グルメが誕生し、人気となっています。「深浦マグロステーキ丼」(深浦町)、「平内ホタテ活御膳」(平内町)、「中泊メバルの刺身と煮付け膳」(中泊町)、「田子ガーリックステーキごはん」(田子町)、「東通天然ヒラメ刺身重」(東通村)が地域の飲食店で提供され、デビューから6年目となる「深浦マグロステーキ丼」は、平成30年10月に累計販売食数が20万食を突破しました。

一方、青森のラーメン文化もバラエティ豊か！煮干しのだしをたっぷりさせたラーメン、あっさり風味の「八戸ラーメン」、しじみを入れた「しじみラーメン」、意外な組み合わせの「味噌カレー牛乳ラーメン」などなど。

平成30年家計調査(家計収支編・二人以上の世帯)の結果をみると、青森はカップ麺購入金額(1世帯当たり)が第2位となっており、ラーメン好きというもうなげます。



イチ押し
ニ二あらかると

青森県は「B-1グランプリ」発祥の地。2012年の第7回B-1グランプリでは、八戸せんべい汁研究所がゴールドグランプリを獲得し、2014年の第9回B-1グランプリでは、十和田バラ焼きゼミナールがゴールドグランプリを獲得しました！

日本一太いソメイヨシノ



藩政時代、津軽氏の居城であった弘前城は、現在、弘前公園

として多くの市民や観光客に親しまれています。明治末期頃から市民による桜の寄贈が盛んになり、春には、ソメイヨシノを中心に52種約2,600本の桜が艶を競って咲き誇り、桜の名所となっています。弘前公園三の丸、緑の相談所中庭にあるソメイヨシノは、幹の周りが5m37cmで、環境省の「巨樹・巨木林データベース」によるとソメイヨシノの単幹では日本一の太さ！そのほか樹

齢100年以上のソメイヨシノが園内には400本以上もあり、見事な花を咲かせています。また、青森県の天然記念物に指定されている弘前公園最長寿のソメイヨシノは明治15年(1882年)植栽で樹齢138年！昭和30

桜の本数が多い県内の公園

弘前市弘前公園	2,600本
八戸市八戸公園こどもの国・植物園	2,000本
三戸町城山公園	1,600本
五所川原市芦野公園	1,500本
六戸町館野公園	1,100本
弘前市桜林公園	1,000本
おいらせ町下田公園	800本

年頃一度枯れそうになりましたが、桜の枝は剪定しないのが常識だった当時、りんごの管理技術を取り入れて積極的に剪定を行い、肥料を与えることによって蘇らせたそうです。

弘前公園では、弘前城本丸の石垣を修理するため、平成27年に約3ヶ月にわたって約70m本丸の内側の現在地へ天守を曳屋しました。この期間中に弘前城(有料区域)を訪れた人は、前年同期間の約2倍！また、お花見の時期は、岩木山と天守と桜を一度に見ることができる展望台からのスポットが好評となっています。石垣修理が終わるまでの期間限定の景観ですので、ぜひご覧ください！



写真：弘前城本丸
資料：弘前市公園緑地課、市町村照会、他

メイド・イン・青森

でんとう

—伝統のピカイチ・新しいピカイチ—



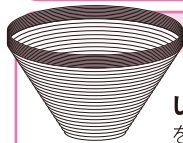
青森県には、豊かな自然と生活、文化の中で育ったすばらしい技術やものが、たくさんあります。しかし、そういった「伝統」をただ守っているだけではありません。

長い時の中で培われた技術を習得しつつ独自の工夫を加え、時には今までのやり方を変えてまったく新しい試みに挑戦し、困難を乗り越えて新たな分野を生み出したものがあります。

津軽塗



津軽塗は、弘前を中心とした津軽地方に伝わる堅くしっかりとした優美な外見を持つ塗物(漆器)で、始まりは江戸時代元禄年間までさかのぼる。唐塗、七子塗、紋紗塗、錦塗という4種類の技法があり、ヒバの素地から塗り、研ぎ、磨きを繰り返し、約50もの工程を経て完成する。青森県で唯一国の伝統的工芸品に指定されている。伝統を保ちながらもアクセサリ、インテリア、事務用品などの斬新な作品を次々と誕生させ、ヨーロッパでも高く評価されている。平成29年10月2日に重要無形文化財の指定を受けた。重要無形文化財の指定は本県初であり、漆芸分野での指定は人間国宝を除くと、輪島塗(石川県)に次いで2例目となる。



BUNACO(ブナコ)

BUNACOは、日本一の蓄積量を誇る青森県のブナ材をテープ状に加工し、バームクーヘンのように巻き重ねて形を作る工芸品。美しい立体曲線を自在に表現できるだけでなく、木の優しさとしなやかさを兼ね備えており、木材使用も通常の10分の1程度で、地球にも優しい。国内の高級ホテルなどでも使用され、海外での人気も高く、BUNACOのお盆と茶托を茶器と組み合わせた「Yauatcha Tea Set」はイギリスで賞を獲得し、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館に永久収蔵されている。

あおもり藍

江戸時代の弘前藩は藍を栽培し、藍染めを産業の一つとしていた。「あおもり藍」は、休耕田に藍を植えれば、藍を活用した新しいビジネスを興せるのではないかと青森市で取組が始まった。平成22年、天然成分による高い抗菌性、防臭性が認められ、新しい染色技術で染められたポロシャツがスペースシャトルの船内着として採用された。現在は、農業不使用で栽培したあおもり藍の葉に含まれるトリプタンスリンという成分を天然由来成分により抽出することに成功し、農業や医療、食品などへの活用に向けて研究が進んでいる。お菓子や消臭剤、石けんなどの商品化が進み、さらに多くの商品の開発が進められている。



青森県の縄文

縄文時代は今から約1万5千年前に始まり、日本で本格的な稲作が始まる弥生時代の開始まで、1万年以上もの間つづきました。

青森県は、県内各地に**3千を超える**縄文時代の遺跡が存在し、そのうち**9遺跡が国指定特別史跡や史跡**となっているなど、極めて文化価値の高い地域なのです。

中でも平成12年に国の特別史跡に指定された青森市の「三内丸山遺跡」は、大型掘立柱建物跡や数多くの土器や土偶、装飾品が出土し、縄文人の驚くほど豊かな暮らしぶりや精神性を示すなど、従来の縄文時代のイメージをことごとく覆しました。

県では、平成31年4月に「三内丸山遺跡センター」を開設して様々な展示やイベントを行うなど、日本最大級の縄文集落三内丸山遺跡の多様な活動や最新情報を発信しています。



イチ押し
三二あらかると



- ◆面積42ha、日本最大級の縄文集落跡！
- ◆高さ32cmの板状土偶は国内最大級！
- ◆長さ32m、幅10mの大型竪穴建物跡！



- ◆竪穴建物跡や大人・子どもの墓、道路跡など、施設配置に計画性があり、1,500年以上にも及ぶ長期間の定住生活を送った！
- ◆大型掘立柱建物の6本の柱穴の直径・深さは2メートル、間隔は全て4.2メートルで、中には、直径1メートルのクリの木柱が！
- ◆ヒョウタンやゴボウなどの栽培植物の種子が出土し、DNA分析によりクリの栽培も明らかに！
- ◆赤漆塗りの木製皿や赤色顔料が出土、高い漆の技術を持っていた！



- ◆新潟県糸魚川市周辺のヒスイや長野県産の黒曜石、岩手県産のコハクなどが数多く出土。数百キロも離れた地域の人々と交流していた！



—世界遺産登録を目指して—



北海道から北東北は、全国に約9万か所以上ある縄文遺跡のうち約2割が分布する、まさに「**縄文遺跡の宝庫**」です。また、1万年以上も続いた縄文時代の各時期の文化を今に伝えるものとして学術的に重要なだけでなく、日本という枠を超え、世界の宝として残すべき貴重な文化遺産と言えます。

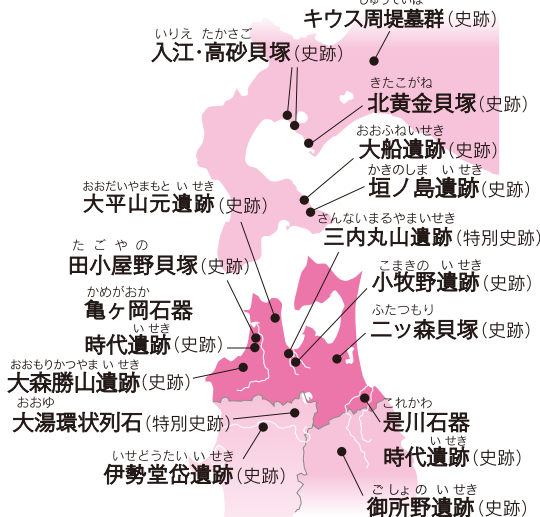
この貴重な宝を未来に残すため、青森県は、北海道、岩手県、秋田県と協力し、青森県の8遺跡を含む17遺跡で構成する「**北海道・北東北の縄文遺跡群**」の**2021年の世界遺産登録を目指し取り組んでいます。**

自然に感謝し、自然と共生するという縄文の暮らしには、現代に生きる私たちが学ぶべきことがたくさんあります。縄文文化のすばらしさを今に伝える北海道・北東北の縄文遺跡群を、私たちの手で守り、未来へ繋いでいきましょう！

「縄文遺跡群ロゴマーク」



「北海道・北東北の縄文遺跡群」



資料：県世界文化遺産登録推進室

青森の自然と祭りを楽しもう！



世界でも日本は四季の變化に富んだ国と言われます。その中でも青森県は季節の移り変わりがはっきりしており、四季折々の自然の美しさが私たちの目を楽しませてくれます。

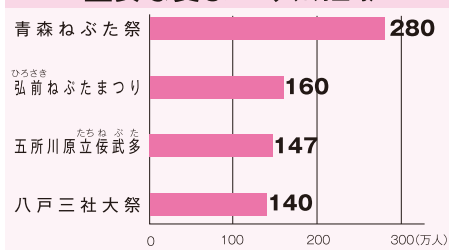
春

弘前公園の空を埋めつくす満開の桜は2,600本。ゴールデンウィークの頃に満開を迎え、弘前さくらまつり期間中には全国から約254万人(平成30年)もの人が訪れます。

夏

山が力強い緑であふれる頃、県内各地は夏祭りの時期を迎え、躍動感が街を圧倒します。夏を彩る「青森ねぶた祭」、「弘前ねぶたまつり」、「五所川原立佞武多」、「八戸三社大祭」には、全国から727万人(平成30年)が訪れ、熱気は最高潮となります。

主要な夏まつり(8月上旬)



※五所川原立佞武多は五所川原花火大会の入込客数を含む。

資料:平成30年青森県観光入込客統計(県観光企画課)



秋

彩り豊かな紅葉が山や溪流を飾ります。中でも東北で最初に紅葉が始まる八甲田から十和田湖にかけての景色は格別。ブナ・ナラ・タケカンバなど色の種類も豊富で、**14.2kmに渡る奥入瀬溪流、紅葉・黄葉に覆われる十和田湖**(61.02km²、うち青森県分36.61km²)は息を飲む美しさです。

冬

幻想的な雪景色で癒されたり、その中でスキー、スノーボード、スケート、カーリングといった冬ならではのスポーツを楽しんだりします。また、地吹雪ツアーという雪国ならではのイベントまであります。

平成28年9月9日
下北ジオパーク(※)が
日本ジオパークに
認定！

雪日数 (県庁所在地 H29年)

都道府県	日
1 北海道	130
2 青森県	114
3 岩手県	103
4 秋田県	102
5 山形県	90

最深積雪 (県庁所在地 H29年)

都道府県	cm
1 北海道	96
2 鳥取県	91
3 山形県	51
4 青森県	47
5 秋田県	46

資料：気象庁「過去の気象データ」

冬季閉鎖されている、八甲田・十和田ゴールドラインの酸ヶ湯～谷地間約8kmでは、4月の一般開通の前に、除雪が終わった道路を歩くイベント、「八甲田ウォーク」が開催されます。道路脇に高く積みあがった雪の回廊は、高さ最高9メートルにも及び、八甲田の雄大な自然を体感できるイベントとして、人気です。



八戸三社大祭

平成28年12月1日
ユネスコ無形文化遺産
に登録！

※ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」+「公園(パーク:Park)」=「大地の公園」の意味。
貴重な地形や地質などを含む大地と、その上に成り立つ生態系や人々の暮らし、歴史や文化の保護活動を行い、教育や観光活動に活かすことで、その地域の魅力をより多くの人に知ってもらうことができます。

世界最大級のブナ林・白神



白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部にまたがる約13万haに及ぶ広大な山岳地帯の総称です。白神山地の森にはブナ林を中心に多種多様な動植物が分布し、極めて貴重な生態系が保たれていることから、

1993年(平成5年)12月に日本初の世界遺産(自然遺産)として登録されました。

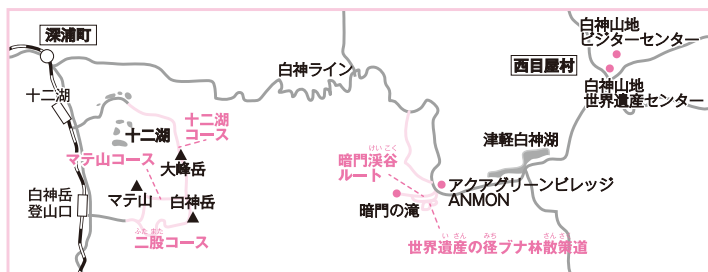
日本国内での自然遺産は白神山地、屋久島、知床、小笠原諸島の4件だけです。

この東アジア最大級の人の手がほとんど入っていないブナ林

には、アオモリマンテマやツガルミセバヤなどの500種を超える植物が自生し、ツキノワグマやニホンザル、イヌワシなど多くの動物たちが生息しています。ブナ林は、動物たちのエサになる植物が多くあるほか、水を蓄える力がとても大きいこと、大地に張りめぐらされた根が豪雨等による地表浸食を防ぐ機能があることも高く評価されています。

白神山地には、「世界遺産の径ブナ林散策道」や「暗門深谷ルート」といった散策コースや、白神岳に登る登山道(十二湖コース、マテ山コース、二股コース)などが整備されており、世界自然遺産の大自然を体感できます。

	世界遺産登録面積	比率	東京ドームに換算すると
全体	16,971ha	100.0%	3629.8個分
青森県側 (約4分の3を占める)	12,627ha	74.4%	2700.7個分
鱒ヶ沢町	4,650ha	27.4%	994.3個分
深浦町	4,119ha	24.3%	881.2個分
西目屋村	3,858ha	22.7%	825.2個分
秋田県側(藤里町)	4,344ha	25.6%	929.1個分



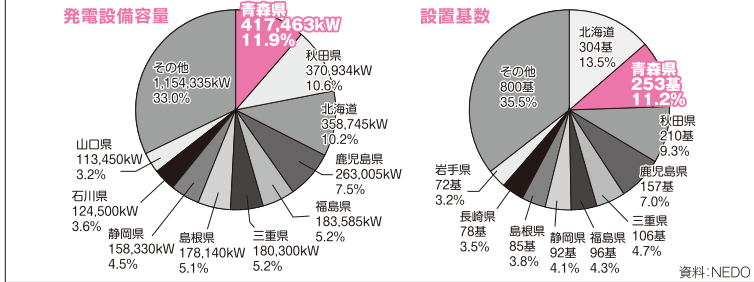
資料：県自然保護課、ユネスコ世界遺産センターHP、文化庁HP、林野庁HP、全国巨樹・巨木林の会HP

自然からの贈り物 再生可能エネルギー



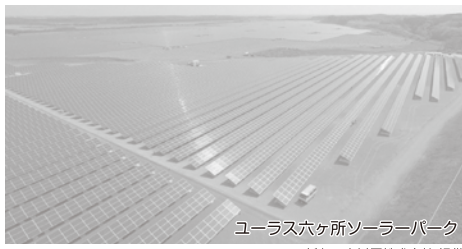
再生可能エネルギーは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出せず、永続的に利用できるエネルギーです。青森県は、豊かな自然環境に恵まれており、特に、風力発電は全国有数の適地で、平成30年3月末現在、風力発電の設備容量が417,463キロワットで全国第1位、設置数が253基で全国第2位となっています。

風力発電導入量ランキング (平成30年3月末現在)



また、平成27年10月には国内最大級の大規模太陽光発電施設(メガソーラー一・115,000キロワット)が稼働しました。さらに、地中熱や温泉熱を利用した住宅・施設等での冷暖房や融雪など、地域の特性に応じた様々な再生可能エネルギーの活用が進んでいます。

再生可能エネルギーの導入が進むことで、脱化石燃料と二酸化炭素の排出量削減につながり、持続可能な低炭素社会の実現に貢献していくことが期待されます。



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク

新むつ小川原株式会社 提供



岩屋ウインドファーム

エコ・パワー株式会社 提供

北海道新幹線の東京・新函館北斗間が最速3時間58分!

しんかんせん

新幹線のピカイチ、集めました!!



新幹線の青函トンネル内の走行速度は、貨物列車との共用走行により時速140kmに制限されていましたが、平成31年3月16日より、時速160kmに速度向上しました!これにより、最速の到着時間は東京・新函館北斗間で3時間58分に、新青森・新函館北斗間では

57分になりました!というわけで、新幹線に関するピカイチを紹介しましょう!

最高速度320km/h!

日本一の高速新幹線車両 (E5系・H5系)「はやぶさ」

東京～新青森間の最速列車は平成25年3月から2時間59分! JR東日本の車両E5系「はやぶさ」は、国内新幹線初となるファーストクラス座席「グランクラス」が導入されたことでも話題になりました。

また、JR北海道の車両H5系「はやぶさ」は、E5系とほぼ同じですが、車体中央にある帯の色や内装の一部などが異なります。



延長713.7km! 日本一の長い路線! 「東京～新青森間」

東北新幹線全線開業後は、東京～新青森間の営業キロが713.7kmとなり、在来線も含めた中で、日本最長の路線! これまでの山陰本線(営業キロ673.8km)に代わり、日本一となりました。

全長26,455km! 世界一の複線陸上鉄道トンネル「八甲田トンネル」

「八甲田トンネル」は全長26,455km、上下線が通る複線トンネルでは世界一長い陸上鉄道トンネルです。青森県の中央部にある八甲田山系の北端に位置し、八戸駅から新青森駅までの距離(81.8km)の約3分の1を占めます。



橋脚間隔150m！ 日本一広い橋脚間隔の新幹線鉄道橋「三内丸山架道橋」

三内丸山遺跡に近い国道7号青森環状道路をまたぐ「三内丸山架道橋」は、橋長450mのエクストラードズド橋。橋桁を支える橋脚と橋脚の間隔は最大で150mもあり、新幹線の鉄道橋で日本一広い間隔です。



全長53.85km！海面下240m！ 世界一の長大海底鉄道トンネル「青函トンネル」

津軽海峡の海面下240mの海底で北海道と結ばれる「青函トンネル」は、全長53.85kmで世界一長くて深い海底鉄道トンネルです。

当時の日本の最新技術を駆使し、昭和63年(1988年)3月に開通！その技術が、英仏海峡トンネル(全長50.49km)でも活用されました。

なお、平成28年6月1日に世界一長い単線陸上鉄道トンネルである「ゴッダルドペーストンネル」(全長57.1km:東トンネル)が開通したため、鉄道トンネル全体では世界第2位の長さとなりました。

イチ押し
ミニあらかると

第3セクター鉄道「青い森鉄道」にも ピカイチ！

東北新幹線全線開業に伴い、並行在来線としてJR東日本から経営分離され誕生した「青い森鉄道」は、目時・青森間121.9kmを上下分離方式*で運営し、平成31年3月23日に開業した三陸鉄道に次いで長い第3セクター鉄道です。

上北町～乙供駅間にある「天間川橋りょう」はなんと世界で初めて「3径間連続アーチ橋」で建設された鉄道橋です。

ピカイチのある青い森鉄道に、みなさん、是非ご乗車ください。

*青い森鉄道では、県が線路や駅舎等の施設(「下」の部分)を、第3セクター鉄道会社が電車(「上」の部分)を所有し運営する上下分離方式を第3セクター鉄道としては日本で初めて採用しました。